

委員会議事概要	
1. 委員会名	令和4年度 第2回沖縄県内水面漁場管理委員会
2. 開催日時	令和4年8月26日(金) 14:00~14:35
3. 開催場所	沖縄県庁9階農林水産部 第4会議室
4. 出席委員 (定数8名中6名)	(会場参加) 古谷千佳子委員、津波古優子委員、金城政達委員、伊波實委員 (Web参加) 立原一憲委員、山川彩子委員
5. 議事録署名人	金城政達委員、山川彩子委員
6. 議事内容	
(1) 第1号議案	リュウキュウアユの採捕承認申請について (P1~P47)
【要旨】	いであ株式会社・一般財団法人の沖縄県環境科学センター設計共同体から試験研究目的の採捕申請が1件あり、原案どおり承認された。
【特記事項】	<p>【立原議長】本案件は、申請者がいであ株式会社・一般財団法人の沖縄県環境科学センター設計共同体なので、いであ株式会社に所属している津波古委員は、漁業法第146条及び同法第173条の準用規定に基づいて議事に関わることができないという規定になっている。</p> <p>この調査ではリュウキュウアユは対象として目的外になっているが、魚類調査なので、リュウキュウアユも対象になると思うので説明が間違っていないか。</p> <p>【事務局】魚類が採捕対象なので、採捕される可能性はあるが、積極的にリュウキュウアユは対象になっていない。</p> <p>【伊波委員】積極的な採捕ではないと言うが、採捕の申請でたまたまアユが引っかけたときに許可するという内容か。審議する必要性というものは、たまたまアユが捕獲された場合か。</p> <p>【事務局】混獲の可能性があるので、申請を出している。</p> <p>【立原議長】補足すると、この河川の水辺調査の国勢調査は、今回魚類が対象で、投網を使って積極的に魚類を採るので、リュウキュウアユの混獲という表現はふさわしくなく、リュウキュウアユも対象と思う。採捕が確認された魚のリストを出す必要があるので、普通の調査の混獲とは少しニュアンスが違ふと感じる。かなりの確率で採れるという申請だと理解した。</p> <p>【事務局】申請書には積極的ではないとあるが、魚類が対象なので、当然入ってくる可能性は高いと認識している。</p>
(2) 第2号議案	リュウキュウアユの採捕に係る委員会指示の発動について (P48~P73)
【要旨】	現在発動している沖縄県内水面漁場管理委員会指示31第1号は、令和4年9月30日で有効期限が終了するため、新たな委員会指示案が提案され、原案どおり承認された。
【特記事項】	特になし